

ビキニ事件三浦の記録／目次

次

はじめに

5

第一部 事件の概要

17

「その日」までの経緯（昭和二十九年三月一日から三月十六日まで）

19

「その日」の三崎（三月十七日）

25

「その日」以後の三崎（三月十八日以降）

31

・水産庁「遠洋漁業陸揚港」として三崎など五港を指定

31

・マグロに合格証

34

・太平洋漁業対策本部と太平洋漁業対策三崎地方本部の設置

36

・第十三光栄丸事件

39

・対策本部県議会に陳情

40

・県議会でもビキニ問題を取り上げる

42

・盛んな陳情

44

・参議院会館でマグロの試食会

51

・水爆対策町民大会

52

・第十三光栄丸船員国立久里浜病院で二度目の検査	59
・横須賀で水爆被害実情報告会	61
・調査船俊鶴丸の出港と帰港	62
・県議会臨時会で決議	64
・安藤国務大臣三崎を訪問	65
・死の灰浴びた第八順光丸	66
・インド、セイロン、カナダからのお客様	68
・財政苦しい三崎町	69
・事件後初の朗報	72
・魚価の値下がりによる損害額	74
・水爆被害交渉経過報告会	77
・矢部ビキニ調査団長、水産試験場で調査概要を講演	78
・久保山さんの死とその反響	80
・三崎・焼津漁民代表、米大使館へ直訴	81
・県議会での融資問題のやり取り	82
・久保山さんの漁民葬	84
・神奈川県漁民大会	84
・全国漁民大会	87

・ 漁業者の損害補償要求額二十億円	91
・ 船員の損害はどの位だったか	92
・ 政府、二億三千万円を融資	94
・ 検査打ち切り	95
昭和三十年以後（昭和三十年一月一日以降）	97
・ アメリカから慰謝料七億二千万円	97
・ 日鯉連、慰謝料に反発	97
・ 参議院水産委員会での慰謝料問題のやり取り	102
・ 慰謝料の配分	104
・ 「日本かつお・まぐろ漁業信用基金協会」の設立	105
・ 原水爆実験反対三浦市民大会	105
・ 県議会で原水爆実験禁止要望決議	107
・ 原水爆実験反対国民大会	108
・ 第一回原水爆禁止世界大会開く	111
・ 第十三光栄丸の遭難	112
・ 広島―東京平和大行進三浦を歩く	112
・ 劇団・海「第十三光栄丸ビキニで被爆す・たべてうまいよ三崎のまぐろ」を上演	114
・ 核兵器廃絶平和都市宣言	114

・ 3・ 12三浦国際シンポジウム	116
・ マーシャル訪問	117

第二部 被害を受けた漁船	119
--------------	-----

第十三光栄丸	121
尾形海幸丸	137
第十一福生丸	145
第八順光丸	149

第三部 事件を記録した人たち	159
----------------	-----

原爆鮪（三崎保健所所長・坂野薫Ⅱ神奈川県衛生年報昭和32、33年度版より）	161
原爆マグロ検査（三崎保健所総務課長・奥野太郎Ⅱ衛友会誌第一号より）	167
放射能にさらされる船員	171
（マグロ検査員・二階堂信也Ⅱ昭和29年8月31日付け朝日新聞「声」欄より）	173
（三崎港遠洋漁船船員組合M・SⅡ個人の日記帳より）	183
原爆マグロ事件始末記（県衛生部公衆衛生課・小野勝Ⅱ三崎保健所五十年史より）	189
原子爆弾とまぐろ漁業（執筆者不明・鮪漁業No.7より）	189

被爆鮪の解剖結果について（執筆者不明・鮪漁業No.8より）

原爆マグロ葬送航海（三崎港遠洋漁船船員組合執行委員長・浅井繁春∥漁船労協より）

ルポ―死んだ港・三崎（比留雅夫・文学の友54・6より）

水爆実験にたいする漁夫の意識

（水産事情調査所員・高橋富士夫∥漁業経済研究第四卷第一号より）

第四部 聞き書きメモ

聞き書きメモ

・第五福龍丸は三崎の船だった

・久保山さんは三崎にいた

・久保山さんの前にビキニ犠牲者がいた？

・三崎保健所坂野所長の苦悩

・業界のマスコミ対策

・あなたにも放射能がある

・ガイガー計数管購入、すぐ故障

・放射能は洗剤で消えた

・水産試験場の対応

・神奈川丸（県立三崎水産高校練習船）の対応

193 197 201 213 219 221 221 227 234 237 238 241 242 243 244 245

放射能測定器具の常備船増える	246
調査船俊鶴丸と三崎	248
神奈川丸・石橋正船長、俊鶴丸乗組員を叱る	250
NHKで現地の声録音	251
長野県のマグロ埋没事件の調査	252
マグロ検査に立ち合った厚生省事務官の思い出	254
三崎地区内のマグロ投棄場所	256
人知れぬ検知班の苦勞	256
マグロは皆食べていた(秀丸食堂とその客たち)	258
観光資源? になった第十三光栄丸	259
研究材料になった汚染マグロ	260
マグロにも原子病?	261
三崎港での被災船は何隻だったのか	263
ビキニ事件で儲けた人もいた	264
寺本正市さんの行動の記録	266
久野又兵衛さんの奇跡	269
三崎で二つの講演会(賀川豊彦氏と武谷三男氏・中泉正徳氏)	270
三崎魚市場で放射能測定器の展示会と講演会	274

第五部 資料

被害

- ・三崎町民の俳句、短歌に見るビキニ事件……………275
- ・三崎町小、中学生の作文に見るビキニ事件……………277
- ・三崎中学校のビキニ事件調査……………285
- ・三崎中学校の演劇「原爆の子」……………288
- ・三崎下町の景気……………289

297

- ・三崎港で放射能を検出された漁船一覧……………297

- ・三崎港における月別廃棄隻数と廃棄量……………304

- ・県意見書に添付された資料より「鮪類取引状況」「船別水揚げ状況」……………305

融資と補償

- ・融資 ビキニ被災関係漁業者に対する融資……………308

- ・政府の廃棄マグロに対する第一次補償金……………310

- ・政府の廃棄マグロに対する第二次補償金……………310

- ・補償 ビキニ被災事件に伴うアメリカからの慰謝料配分額……………311

- 陳情、請願、意見書、嘆願書、申入書、宣言、決議文書一覧……………314

- 漁船名簿（昭和29年現在）……………316

その他

・ビキニ危険海域図

・昭和二十九年三月のマグロ漁場図

・「日刊三崎港報」に掲載されたビキニ関連記事一覧

ビキニ被災事件年表

参考文献

取材と編集にあたって

324 324 325 327 335 347 350

凡 例

一、資料の引用は原文のままを原則とした。引用部分は『 』を使った。原文が明らかに間違っていて、直したほうがよいと判断したものは訂正した。
横書きの資料は原則として縦書きに直した。

一、第五福龍丸については、資料により「第五福龍丸」と「第五福童丸」の二通りの表記がされているが、ここでは船籍原簿に記載されている「第五福龍丸」に統一した。ただし、引用文、団体名などは原文を尊重した。

一、船名、日時の表記は本文中は原則として「第十三光栄丸」、「昭和二十九年三月二十一日」のようにしたが、表などの場合は13光栄丸、昭和29年3月31日、あるいは29・3・31とした。

一、鮪の表記は原則としてマグロとした。ただし、固有名詞と引用文の場合は原文を尊重した。

一、神奈川県鰹鮪漁業協同組合は原則として丸生とした。引用文の場合は原文を尊重した。

日本鰹鮪漁業協同組合連合会は原則として日鰹連とした。引用文の場合は原文を尊重した。

神奈川県鰹鮪漁業者協会は原則として協会とした。引用文の場合は原文を尊重した。

日本鰹鮪漁業者協会は原則として日カツとした。引用文の場合は原文を尊重した。

一、三崎水産物協同組合（三崎魚商協同組合）は原則として丸魚とした。引用文の場合は原文を尊重した。

一、三崎港遠洋漁船船員組合は原則として船員組合とした。引用文の場合は原文を尊重した。

一、太平洋漁業対策三崎地方本部は原則として対策三崎本部とした。引用文の場合は原文を尊重した。

一、登場する方々の職名、役職等はすべて当時のものを用いた。